

信州大学知の森基金を活用したグローバル人材育成のための短期学生海外派遣プログラム  
実施状況および成果(広報用)

プログラム名	グローバルエンジニア育成のための工学部マレーシア短期研修	
学部・研究科名	工学部	
プログラム実施期間	2018年9月2日～9月22日	
研修先(国・都市・施設名)	マレーシア・クアラルンプール・マラヤ大学、マレーシアアトラ大学	
参加者数	7名	知の森からの支援者：4名
プログラム概要	<p>工学部では夏休み期間中の2018年9月、マレーシアにある信州大学の学術協定校2校に計7名の学生を派遣し、英語で行われる専門的な授業を体験する3週間のプログラムを実施した。マラヤ大学、マレーシアアトラ大学に3または4名が派遣され、大学内の学生寮で生活しながら、各自の専門に応じて授業に参加した。学生たちは、日本とは異なる授業形態、現地学生たちの積極的な態度等から多くの刺激を受けた。またマレーシアの歴史や文化、宗教を学び、日本を発信するという文化交流、世界各国から集まる留学生や日本への大学進学を目指し日本語を学んでいる学生たちとの出会いなどからも視野を広げることができた。現地の企業見学やリサーチ活動等も行い、学生にとって自己を振り返り、将来グローバルエンジニアとして世界で活躍するための課題や目標を見つけ、今後の中長期留学や将来の進路を探るきっかけとなる研修となった。</p>	

実施状況・成果

事前ガイダンスを計4回実施し、本プログラムでの各自の目標・目的設定、海外渡航に関する安全指導、留学手続きや授業受講に関する指導、マレーシアの文化、生活、宗教、派遣先大学での留意点などについての事前学習を行った。現在マレーシアから信州大学に留学している学生や昨年度の本プログラム参加者にも出席を依頼し、研修により役立つ情報が提供できるようにした。また、工学部Global Caféにより英会話力の向上を図った。現地で行うリサーチ活動については渡航前に計画書を作成・検証し、授業については派遣先大学の授業タイムテーブル等を利用して、事前を受講する講義を調べ各自時間割を設定、専門英語の予習等を行って、留学に備えた。

留学中、参加者はそれぞれマラヤ大学、マレーシアアトラ大学の学生寮で生活し、一般の学生と同様、各自の専門に応じた英語で行われる授業を受講した。マラヤ大学では本プログラム用の特設授業も受けた。また、留学生を対象としたオリエンテーションや交流会等にも参加し、交換留学生の留学生生活を3週間に圧縮した「海外留学シミュレーション」を行った。今回の留学体験は参加者にとって今後の中長期の留学等を検討する契機となった。また自らの学業への姿勢について振り返った者も多く、「帰国後の専門分野での目標がより明確になった」、「授業にもっと積極的に取り組んでいきたい」、等としていた。当初は生活習慣の違い等カルチャーショックもあったようだが、次第に順応し、徐々に積極的に授業や寮生活を通じて知り合った現地の学生と行動し、マレーシアでの生活、習慣、宗教等を学ぶだけでなく、日本文化を紹介する等の文化交流も行った。異文化に直接触れ、理解し適応する中でコミュニケーション能力や問題解決力、柔軟性や積極性が養われ、今後グローバルに活動していくための素養を涵養することができた。

帰国後は、報告書類を作成と共に、報告会の開催を予定している。報告会は、学内より自由に出席可能とし、本プログラムの成果を広く発信する。一部の発表は英語で行う予定である。

学生の声①-工学部 学生

おかげ様で3週間という短い期間でマレーシアという国を堪能できました。また、普通の旅行とは違って、向こうの大学に行き、先生、学生と直接交流できる機会が多かったことがこの研修で一番良かった点ではないかと思えます。担当のZati先生を初め、特別講義での先生方や学生たち、学生寮は留学生専用のものであったためそこで韓国、日本、中国など色々な国から来た学生たちと一緒に生活しました。特にマラヤ大学の学生達には私達の授業や休日の観光に至るまで色々な事を助けてもらって、今も本当に感謝しています。初めての短期留学で3週間という短い時間でしたが、将来の進路を選ぶ際の視野が広がった気がします。研修を助けてくださった方々にも本当に感謝しています。これを機に、また機会があればもっと色々な国に行ってみたいと思いました。ありがとうございました。

学生の声②-工学部 学生

現地学生と交流することは大変な喜びであった。マレーシアでは、活発な女性が多い。自発的にいろいろ教えて頂いた。クラスメートの中に日本語もできる人もいる。クラスではインド系、マレー系、中国系の人たちは宗教と関係なく話している。授業の雰囲気は非常に良い。学生は積極的に先生の質問に答えている。寮では、現地の学生と知り合う機会がたくさんある。不安なことがあれば、彼女達に聞いていい。日本ではほとんど出会うことのできない果物が多い。価格も安くて毎日何か食べていた。マレーシアでは日本食以外にマレーシア料理やインド料理、中華料理などと多民族国家ならではの食文化も体験した。EPSON見学を通して、日本人はどんな姿で、どんな思いで、マレーシアで働いているかを知った。商品の品質管理について国内だけではなく、海外でも厳しく管理していることについて感心した。今回の研修を経て英語の重要性を改めて意識した。勇気を出して世界に行く。絶対後悔しない。

企業見学



ツインタワー前

